

# 「鳴門コウノトリれんこん教室」の報告

## 1. 広報と募集

- ・2019年11月20日を申し込み期限として、2019年10月28日から広報を開始。
- ・ツアーのポスター（B3・40枚）、チラシ（A4・1,800枚）の印刷物を県内4箇所の道の駅及びJR主要駅に配置。チラシの配布、ウェブ・SNS等での発信について委員の協力を得ながら実施。
- ・2019年11月12日に徳島新聞の情報とくしま、2019年11月14日には徳島新聞の地域総合面、読売新聞の地方面にツアーの記事が掲載。
- ・23件54名の応募があり、抽選で参加者を10組30名に選定。



ツアーの募集のチラシ



そごう地下1階「とくしま旅づくりネット」でのポスター・チラシ設置

## 2. 概要

- 日時 2019年12月1日（日） 11:00～14:00
- 参加者 10組30名  
※徳島市在住が最多で21名、その他鳴門市、吉野川市、北島町から各3名が参加
- 参加費 大人：2,500円 子供：2,000円（未就学児は無料）
- 場所 板東南ふれあいセンター 集合 11:00、解散 14:00
- 内容
  - 10:30 受付開始
  - 11:00 開会オリエンテーション（※コウノトリとレンコンの学習、献立紹介等）
  - 11:25 生き物観察とれんこん掘り取り体験（※15人ずつの班分け、30分で交代）
  - 12:40 調理体験
  - 13:15 食事・アンケート
  - 14:00 閉会
- 講師
  - 河口洋一氏（徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授）
  - 柴折史昭氏（コウノトリ定着推進連絡協議会）
  - NPO 法人れんこん研究会



室内学習



生き物観察



れんこん掘り体験



生き物観察中に飛来した2羽のコウノトリを観察



調理体験

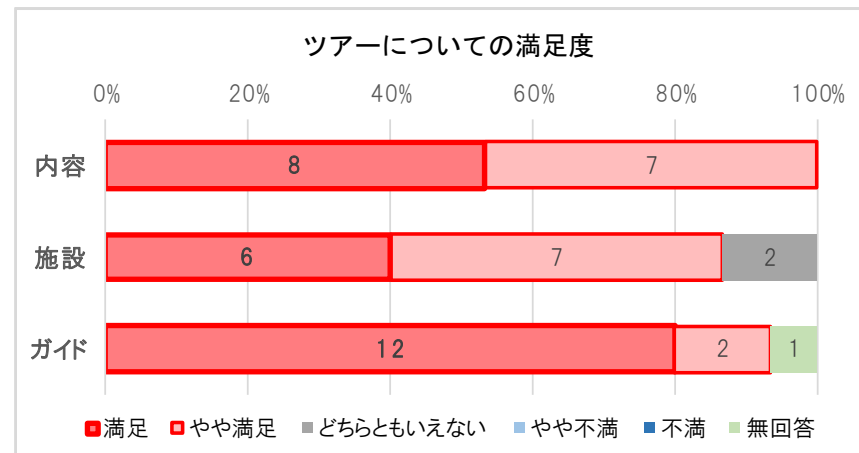


屋外での食事



### 3.アンケート結果の概要（※回答数：15件）

- ・モニターツアーへの参加理由として、多くは生き物観察や学習、レンコン収穫等の体験内容に関心を持ち応募していた。
- ・モニターツアーを知ったきっかけとして、徳島新聞の記事を挙げる回答が最も多かった。  
※実際の申し込みも新聞記事掲載日の11月14日に最も多くなった。
- ・ツアー開催地である鳴門への旅行での訪問の有無について、約7割が旅行目的で鳴門を訪れた経験があり、うずしお観光や大谷焼を目的としていた。コウノトリ見学を挙げた回答も1件あった。
- ・全員がコウノトリの生息についてツアー参加前から認識していた。
- ・改善点が挙げられたものの、ツアー内容、施設、ガイドの説明のいずれにおいて満足度は高いものであった。



ツアーについての感想

【良い点】	【改善点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリとれんこんのつながりが良くわかった</li> <li>・コウノトリが徳島に来る理由がわかった</li> <li>・コウノトリが見られた ・子供に体験させられた</li> <li>・施設が十分整っていない分、サポートが手厚かった</li> <li>・コウノトリやれんこんの専門知識を知れて良かった</li> <li>・大学の先生や農家さんから話が効けて貴重だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンコン掘りや生き物観察の時間が短かった</li> <li>・観察中に車が通る</li> <li>・屋外と屋内組み合わせが良いがもう少しスムーズに運べると良い</li> <li>・食事場所が寒い、中で良い ・椅子が足りなかった</li> <li>・お土産が欲しかった</li> <li>・見学者が参加者より多かった</li> </ul>

- ・ツアーにこれまでにない「新しさ」「違い」を感じられたとの回答が多く得られた。その理由として、特にガイドや題材となったれんこんについての意見が集まった。
- ・ツアーの参加で、れんこんやれんこん葉茶を購入したいと感じたかについて、約9割が購入したいと感じていた。理由として、実際に調理や食事をしたことで、れんこんの美味しさ、調理方法がわかったことを挙げる意見が多かった。
- ・今後、コウノトリの子育て観察ツアーがあれば参加したいかについて、参加したいとする回答が多く、もっとコウノトリについて知りたいという意見があった一方で、大勢で見ることでの影響を心配する声もあった。
- ・今後のツアーに組み込んで欲しい内容として、ビオトープや田んぼ、ハス田での生き物観察や生き物採り、大谷焼体験等を組み込んでほしいという意見があった。また、内容が盛り沢山で体験時間が短かったので1泊のツアーでも良かったとの意見もあった。

### 4.収支

- ・参加者が適当とした料金は、大人は+500円の3,000円、小人は-500円の1,500円。
- ・採算を考えた場合+2,000円の価格設定が必要。

#### ■収入

対象	人数	収入(円)
大人(2,500円)	15名	37,500
小人(2,000円)	11名	22,000
幼児(※無料)	4名	—
合計	30名	59,500

#### ■支出

項目	内容	支出(円)
広報費	チラシ・ポスター印刷費	27,780
食材費		10,124
調理関係備品	鍋、ザル等	33,074
調理衛生用品	洗剤、使い捨て食器、雑巾等	13,575
ハス田使用料	使用面積:0.3a(平均収量7万円/a)	21,000
講師費	※支払いなし	—
合計		105,553

※調理関係備品は今後のツアーの実施の際には不要な支出

### 5.まとめ

- 参加者アンケートの結果から、「コウノトリやれんこんについて専門家から話がきけたこと」「コウノトリとれんこんの関係について学べたこと」等が満足度を高めており、コウノトリ自体の観察がなくとも十分魅力ある内容となることが確認できた。
- 単純な収穫だけではなく、調理や食事がセットであったことで、よりれんこんに対する理解や親しみが増している。対応が煩雑にはなるが商品化をするのであれば、一定数の参加者を確保した上で催行できる、ツアー客や教育旅行等をターゲットとすることで持続性が確保できると考えられる。
- 今回の募集では新聞記事の掲載をきっかけとして多くの人が申し込みをしている。モニターツアーとしての開催で、地域の取組を周知していく狙いでは効果的ではあるが、今後商品として継続的に実施していく際には、記事掲載による広報に頼ることはできない。そのため、対象とするターゲットや広報の方法について検討が必要となる。